

在トリニダード・トバゴ日本国大使館管轄 9 か国の治安情勢
(2017 年 3 月)

1 トリニダード・トバゴ (TT)

(1) 2017 年 100 件目の殺人事件が、3 月 10 日に発生。

2017 年 1 月～3 月の殺人件数：**127 件** (2016 年 1 月～3 月：121 件)

2017 年 3 月：**42 件** (2016 年 3 月：35 件)

(2) カーニバル期間中 (2 月 26 日～28 日) の犯罪件数は昨年と比較して減少し、会場周辺で報告された重大犯罪は **15 件** (昨年は 24 件)。内訳は、銃撃 3 件、傷害 3 件、窃盗 7 件、車両盗難 1 件、殺人 1 件。

(3) 米国国務省は、TT は犯罪の頻発地域である一方、テロの脅威は低いと発表。また、TT 国内で 100 以上のギャング及び麻薬関連組織が活動しており、違法拳銃の密輸が銃器による殺人 (全体の約 81%) の増加の一因になっていると指摘。

米国市民に近づかないよう注意喚起している地域
Laventille, Sea Lots, Cocorite, Beetham, サバンナ内部, ダウンタウン (日没後), Fort George (日没後), すべてのビーチ (日没後)

(4) 2015 年以降の行方不明者および誘拐被害者は 930 人であり、そのうち 59 人が発見されていない。

2 スリナム

スリナムからオランダへのコカインの流入が爆発的に増加。スリナムは、その地理的位置や汚職の蔓延により、麻薬の中継地点になっている。

3 東カリブ諸国

セントルシアにおいて、薬物乱用が初等教育の学生にまで浸透しており、学生達の不審な行動や凶暴化を引き起こしている。